

# 総合患者支援センターニュース

〒700-8558  
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号  
岡山大学病院  
総合患者支援センター  
☎086-223-7151 (代表)  
☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning  
Okayama University Hospital



センターの活動に関してはホームページ  
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)  
をご覧ください。

## 新年のご挨拶：グローバル化の渦中で

岡山大学病院副病院長

総合患者支援センター副センター長(総轄) 岩月 啓氏

あけましておめでとうございます。

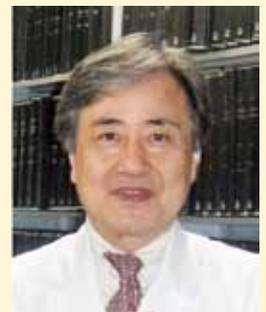
本センターは、患者視点での相談窓口として機能し、院内の医師にとっても頼りになる組織に成長し、医療の質の向上に大きく貢献してきました。病院職員、保健学科など多職種の皆さんとボランティアの献身的ご協力によって着実に発展してきました。特に、ボランティアの皆様のご厚意は本当にありがたいことです。

患者支援部門では、医療・看護・福祉相談から、がん相談、認知症などの相談業務や退院支援を通して、患者さんご家族を支援しています。保健学研究科、歯学部、オストメイト支援チームによる専門的な医療支援活動をしています。また、大学病院診療の前方支援を果たす地域医療連携部門には、最近では、「晴れやかネット」による他院との医療情報共有の業務も加わっています。総合患者支援センターの患者支援部門と地域医療連携部門は、岡山大学病院と地域医療を結ぶ大切な役割を担っています。

今後、当センターに期待される役割は大きく三つありそうです。一つは、岡山大学病院のグローバル化に伴う国際的な患者支援です。二つ目は、難病などに対して新医療を受ける患者さんを支援する態勢です。三つ目は、入院から退院までの一括した窓口機能です。平成26年度に岡山大学は、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」に採択され、マスコミ報道でも大きく取り上げられました。岡山大学が、日本のグローバル化を牽引する大学のひとつであることが名実ともに認められました。岡山大学病院は国際化の渦中にあり、日本の優れた医療や支援を求めて海外からの患者受け入れ態勢が必要です。当センターもその一端を担う必要があります。通訳ボランティア、多国語での案内書など、いずれソフト面での充実が必要になるものと思われます。岡山大学病院は「臨床研究中核病院」に選ばれ、それに連動して文部科学省の「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」に採択されました。今後、新薬や新医療開発が進み、患者さんの協力を得て医師主導臨床試験が進められると思います。主治医から十分な説明を受けるのはもちろんですが、倫理面に配慮した手続き中には、患者さんにとっては分かりづらい部分や、あまりにも事務的な記述で誤解を生じる場面があると思います。そんな時、医師では気付かない患者さんや家族のハートの部分を支える必要があるように思います。

三つ目の入院退院を通しての一貫した窓口機能は、患者さんの視点から重要です。患者さんの医療情報だけでなく、家庭・生活環境や、医師にも身内にも伝えられないような内容を把握したうえで、総合的に支援する態勢が必要になる時代が来るかもしれません。多職種が連携して活動する総合患者支援センターの役割は、ますます重要になってきています。できることから少しずつ取り組んでいきたいと思っております。

今年もよろしく願い申し上げます。



## 岡山大学病院連携医療機関への取組みについて

岡山大学病院では、地域へ根ざした病院として地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、より円滑な医療の連携を行うために平成24年度から連携医療機関認定制度の運用を開始しております。



岡山大学病院地域医療連携の趣旨にご賛同をいただいた病院や診療所に「連携医療機関認定証」を発行しており、地域の患者さんへのより良い医療連携の構築を目指し、取り組んでおります。

「連携医療機関認定証」を発行させていただいた医療機関については、患者様に情報提供する目的で外来棟1階の自動支払機の上へ掲示しております。また、岡山大学病院ホームページへも掲載しております。

[http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/hos/menu03/renkei\\_list.html](http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/hos/menu03/renkei_list.html)

◆地域連携室から外来受診予約された患者さんへご案内

《医科》

かかりつけ医から地域連携室を通じ初診のご予約をされた患者さんは、手続きを円滑に行うため外来診療棟1階の総合受付窓口(地域連携予約)で受付を行っております。

予約日には、紹介状、保険証、外来予約票(お持ちの方のみ)をご持参のうえ、予約時間前に受付けをしてください。

また、現在お薬を服用の患者さんは、服用中のすべての薬が分かるもの(お薬手帳等)をご持参ください。

《歯科》

予約日には、紹介状、保険証、外来予約票(お持ちの方のみ)をご持参のうえ、歯科棟1階の歯科総合受付①番窓口で、予約時間前に受付けをしてください。



## 平成26年 いい歯の日

皆さまご存じでしょうか？ 岡山県の条例で11月8日は「いい歯の日」と制定されています。県民の歯の健康に関する意識の醸成を図ることが目的です。岡山大学歯学部は岡山県歯科医師会とともに地域保健活動を推進するため、平成26年11月8日(土)に「歯と口の健康を考える集い」を岡山大学病院 Junko Fukutake Hallにて開催いたしました。公開講座として次の2題の講演を行い、好評をいただきました。



講演1:「健康長寿宣言」～高齢者の「食」を基盤とした健康増進、介護予防、虚弱予防に向けて～

岡山大学歯学部長 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 教授 窪木拓男

講演2:「口の健康とソフトランディングエイジング(SoLA)」

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯周病態学分野 教授 高柴正悟



その他にも「細菌カウンター」による口腔内細菌数の測定や、岡山大学病院歯科診療科の案内パネル展示、岡山県歯科医師会や岡山県歯科衛生士会作成パンフレットの配布等、幅広い年齢層の方が楽しめるイベントになりました。今後も、県民の方々の健やかな生活に貢献できるように活動していきたいと思っております。



## 退院支援で連携している院内のチーム紹介 ～頭頸部がんセンター～

頭頸部がんは、一般的には、口・鼻・のど・顎などのがんが含まれ、この頭頸部がんの治療には、医師・歯科医師・看護師・メディカルスタッフなどの連携したチーム医療が、最も必要とされるといわれています。そこで、岡山大学病院では、米国がんセンター頭頸部がんチームのような集学的治療をめざし、2012年4月に、国立大学病院として初めて、頭頸部がんセンターが設立されました（木股敬裕センター長）。

手術数は、2013年度は年間約160件で、その他に、放射線治療や、抗がん剤などの化学療法も行っています。患者さんは、岡山県内や中国、四国地方ばかりでなく、北海道や九州からも来院され、全国的にも注目されています。

その中で総合患者支援センターは、非常に重要な役割を担っています。患者さんにとっては、ご自分の治療のことばかりでなく、治療費を含めた経済的なこと、ご家族のこと、福祉的な支援体制や今後の生活のことなど不安や相談したいことがいっぱいです。それらを手助けしてくれる総合患者支援センターは、患者さんの心のよりどころになっています。支援が必要な患者様は、週1回のカンファレンスで、議論や相談がなされることもあれば、随時、主治医や看護師から総合患者支援センターに依頼するなどの連携を行っています。



## 認知症疾患医療センターの地域包括支援センター訪問について

認知症疾患医療センターは、地域の総合相談窓口である地域包括支援センターと連携して認知症高齢者を支援する役割があります。

平成26年度は、連携強化を図るため、精神科神経科の医師とソーシャルワーカー2名で備前地域にある6カ所の地域包括支援センターを訪問しました。認知症疾患医療センターの活動や役割について、また地域包括支援センターの活動や認知症のある高齢者への関わりについて情報交換を行い、相互理解を深めることができました。

地域の医療機関が限られていることや認知症が進行してからの相談が多いこと等の様々な課題について学ばせて頂き、これから地域包括支援センターと認知症疾患医療センターがどのように連携していくべきか話し合う貴重な機会となりました。

地域包括支援センターからは「以前よりさらに身近に感じられるようになり、相談しやすくなった。」と好評を頂いており、今後もますます連携を深めていく必要があると感じました。



## 桃太郎がんメディカルカフェのご案内

メディカルカフェをご存じですか?今回第5回目になる桃太郎がんメディカルカフェでは、がん患者さんやご家族だけでなく、医療従事者も含む市民が参加者として集い、それぞれが対等な立場で心の豊かさや人生観、生き方について自由に語り、交流する場です。

通院先も問いません、どなたでも自由にご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

日時:平成27年3月2日(金) 13:30~15:30(受付:13:00~)  
\*時間内であれば何時でも出入り自由です。  
場所:岡山大学病院 マスカットキューブ3階  
対象:がん患者・家族、医療スタッフ、学生、その他関心のある方  
(岡山大学病院以外へ通院中の方もご参加いただけます)  
参加費:お茶代として100円  
\*当日受付も可能ですが、できるだけ事前にお申し込みください。  
お問い合わせ先:岡山大学病院 総合患者支援センター  
TEL:086-235-7744

## 認知症疾患医療センター市民公開講座のお知らせ

当院では、昨年から認知症医療に関する情報や認知症疾患医療センターの役割を広く市民へ知っていただくことを目的として、市民公開講座を開催しています。今年度は「生活習慣病と認知症」をテーマに、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室准教授 寺田整司先生と臨床栄養部副部長 坂本八千代先生による講演を予定しております。

近年、生活習慣病と認知症の関連性について指摘されており、その予防や治療について市民の関心も高まっていると思われま。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成27年3月7日(土)14:00~16:00(受付13:30~)  
会場 Jホール(Junko Fukutake Hall)  
岡山大学病院内  
内容 講演1 「認知症と栄養」  
臨床栄養部 副部長 坂本 八千代  
講演2 「生活習慣病と認知症」  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
精神神経病態学教室 准教授 寺田整司  
お問い合わせ先 岡山大学病院 医事課医療連携係  
TEL 086-235-6499

## ボランティア感謝状贈呈式・交流会のご報告

平成26年12月19日(金)

当院では、外来案内・患者図書室・園芸・小児科病棟で、ボランティア活動をしています。その活動に感謝し、病院長から、感謝状を贈呈しました。

職員とボランティアの方々と交流会をしました。ボランティアの皆さんの活動に対するあたたかい思いをお聞きすることができ、有意義な時間になりました。



### 今年度の表彰対象者

200時間以上 湯浅容子 青山宣子 岡本静江 池本純子  
500時間以上 伊丹猪太郎 栃木妙子 高下佐登子 吉坂 修  
1000時間以上 三木弘子 犬飼光子  
2000時間以上 太田葉子 亀山尚子

## 小児科ボランティア“ばんび”の紹介

ばんびは、月に1回、小児科病棟のプレイルームで、入院中の子どもさんを対象に、本の読み聞かせや工作を行っているボランティア活動グループです。

季節に合わせた楽しい工作を、子どもさんが安全に作業できるように計画しています。



ボランティアさんの  
アイデアで  
楽しい工作をしています